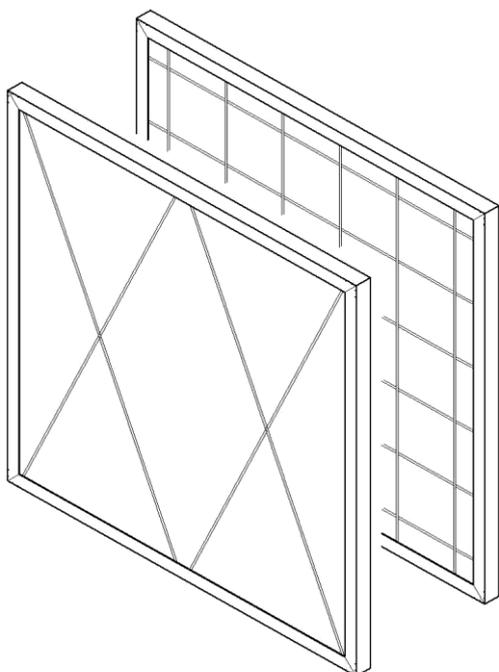


粗塵用フィルター

NPタイプ



各種の粗塵用ろ材を金属枠に組み込んだタイプのエアフィルターで多種多様な設計が可能です。

下表の標準仕様フィルター以外にも使用環境、条件により塗装ブース用ろ材や耐熱フィルター、ガラス繊維、デミスターなど各種のろ材を使用可能です。

ろ材とその使用環境に合わせた、フィルター枠を設計することにより、最適な空調を企画することができます。

その他の代表的な取り扱える材：PPハニカム／PVDCハニカム（サラン）／PVCロック（ビニロック）PVDCロック（サランロック）／フレドロン各種／トラベロン各種／パネロン各種／クランボン各種／他

●標準材料

フレーム材	アルミニウム
ろ材	不織布
押さえ金網	亜鉛メッキ溶接金網
押さえ金具	亜鉛メッキ鉄線、V字

※その他の金属フレームでの製作も可能です。

※不織布の厚さにより枠の厚さ構造を変更いたします。

※金網、金具は上記以外の材質も使用可能です。

●標準仕様（標準以外のサイズ、組み合わせにも対応可能です。）

品番	使用ろ材	重量法効率 (%)	風速 (m/sec)	初期圧損 (Pa)	最終圧損 (Pa)	フィルター厚さ: D寸法 (mm)
NP-25	PS/600	82	2.5	90	200	25
NP-20	PS/400	76	2.5	64	200	20
NP-15	PS/300	73	2.5	54	200	15
NP-10	PS/150	63	2.5	30	200	10

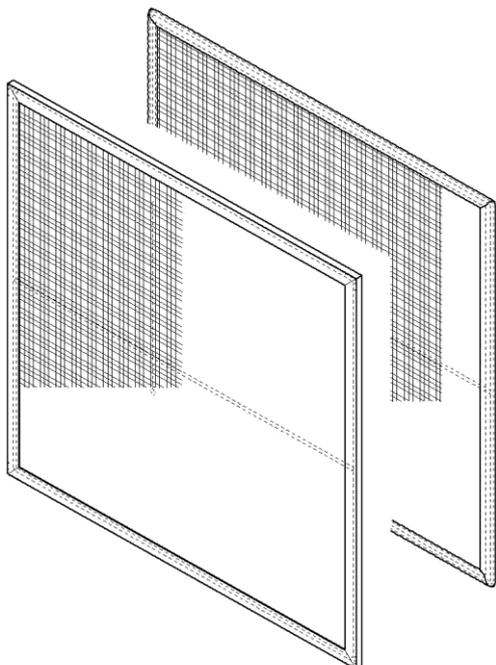
※上記は日本バイリーン製の一般使い捨てろ材を組み込んだタイプです。

●使用条件

※最高使用温度： 80 °C以下 ※最高使用湿度： 95 %以下

粗塵用フィルター

NPタイプ(PPハニカム／サランハニカム)



ポリプロピレン(PP)繊維やサラン(PVDC)繊維を特殊な織り方で立体的な構造(ハニカム状)にしたろ材を使用したフィルターです。

鉄芯に巻き付けて縫製したろ材をPVCLレザーやアルミニウムを枠材として使用するのが一般的な仕様で、その他、使用する環境により多彩な設計が可能です。繊維径、メッシュサイズ、重ねる枚数などを変更することで幅広い環境でご使用いただけます。

圧力損失が低く、洗浄再生が容易で、既存設備への追加設計も容易です。

金属メッシュを金属枠に組み込んだメッシュフィルター、防虫フィルターも製作可能です。

●標準材料

フレーム材	鉄芯+アルミニウム ／鉄芯+PVCLレザー
ろ材	PPハニカム／サランハニカム

※その他の金属フレームでの製作も可能です。

※薄手の不織布を同様に加工することも可能です。

●標準仕様 (標準以外のサイズ、組み合わせにも対応可能です。)

品番	使用ろ材	重量法効率 (%)	風速 (m/sec)	初期圧損 (Pa)	最終圧損 (Pa)	フィルター厚さ: D寸法 (mm)
NP-PP	PPハニカム	15	1.5	6	29	5~10
NP-サラン	サランハニカム	20	1.5	8	20	5~10

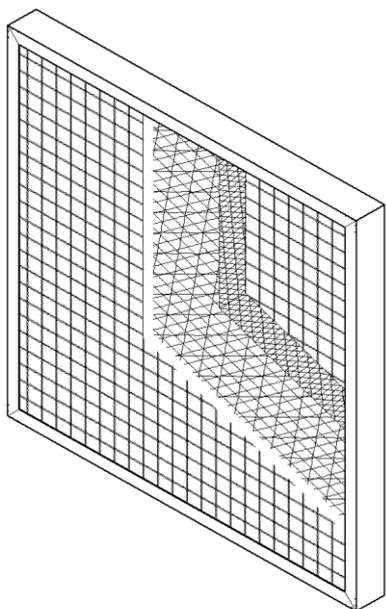
※枠厚さは一般的な仕様ですがその他の厚さでの対応も可能です。

●使用条件

※最高使用温度: 60 °C以下 ※最高使用湿度: 95 %以下

粗塵用フィルター

NPタイプ(SUSデミスター)



ステンレス(SUS)など金属製の細い線材をメリヤス織りにしたデミスターを使用したフィルターです。耐熱性、耐食性に優れ、圧力損失が低いので特殊な環境で幅広く使用することができます。乾燥炉の粗塵捕集や厨房や工場のみストセパレータとして使用することも可能な特殊フィルターです。繊維径や織りパターン、重ね枚数を使用環境に合わせて選んでいただけます。また、材質もステンレスの他にアルミニウム、銅、亜鉛メッキ線、ポリプロピレンなどの種類から選択していただくことが可能です。

●標準材料

フレーム材	SUS304
ろ材	SUSデミスター
押さえ金網	SUS製クリンプ/SUS製ラス

※その他の金属フレームでの製作も可能です。
 ※デミスターはSUS以外の材質でも製作可能です。
 ※金網の材質はアルミニウムラスや亜鉛メッキクリンプなどを使用することが可能です。

●標準仕様（標準以外のサイズ、組み合わせにも対応可能です。）

品番	使用ろ材	重量法効率 (%)	風速 (m/sec)	初期圧損 (Pa)	最終圧損 (Pa)	フィルター厚さ: D寸法 (mm)
NP-デミ	デミスター6枚 (ウェーブ付)	15	1.5	5.5	10	25
NP-デミ	デミスター12枚 (ウェーブ付)	35	1.5	8.4	16	50
NP-デミ	デミスター20枚 (ウェーブナシ)	50	1.5	14	29	25

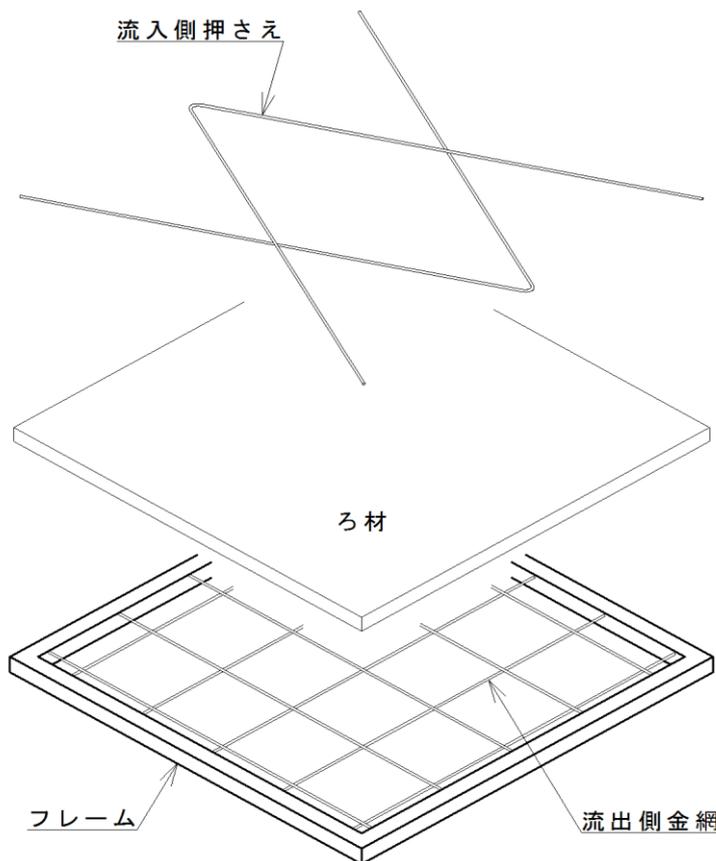
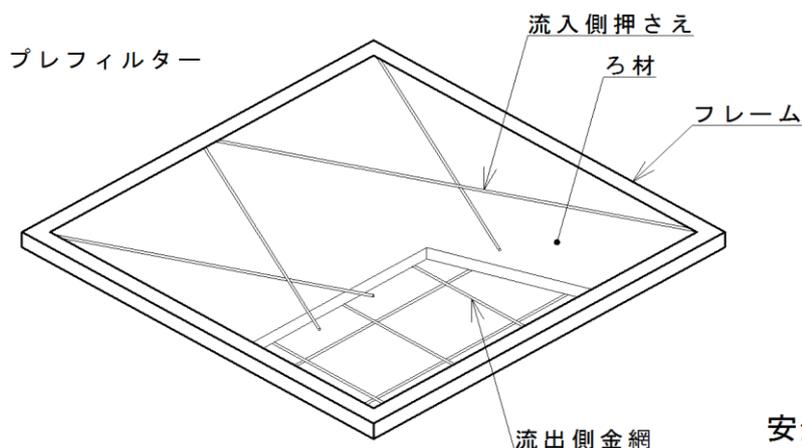
※枠厚さは一般的な仕様ですがその他の厚さでの対応も可能です。

●使用条件

※最高使用温度: 140~450 °C以下 ※最高使用湿度: 95 %以下

NPタイプフィルター交換手順

安全上のご注意と、ろ材交換手順



安全上のご注意

-  **警告** 機器からフィルターを取り外す際には本体の電源を切ってください。
-  **警告** 高所での作業となる場合にはフィルターやその他の部材の落下に注意し頭上の保護を行ってください。
-  **注意** 作業の際は手袋を着用してください。

フィルターろ材交換手順

- 手順1. 先ず流入側押さえを歪ませてフィルター枠から取り外します。
- 手順2. セットされているろ材を流出側金網などに引っ掛からないように注意しながら取り外します。
- 手順3. 塵埃や汚れなどが残っている場合はフィルター枠の清掃を行います。
- 手順4. 交換用に用意したろ材（新品または再生品）を偏り、縫れ、隙間がないように注意しフィルター枠に組み込みます。
- 手順5. 流入側押さえを歪ませてフィルター枠に取り付けます。
- 手順6. ろ材の極端な膨らみや、その他の部材が突出しているなどの異常がないかをご確認いただいた上で、機器の気流方向や取り付け指示などに従ってフィルターを取り付けて下さい。

フィルター取扱に関する注意事項

1. 運搬上の注意

- (1) フィルターを手運びする際には両手でしっかりと抱き上げる様にして下さい。肩や頭上にかつぐなどの方法による運搬は行わないで下さい。
- (2) フィルターを床などに置く際には破損しないように静かにおいて下さい。誤って落としてしまうと、フレームやろ材に損傷を与える場合があります。万が一、落としてしまった場合には、必ず開梱し損傷の程度をご確認下さい。損傷の度合いによりそのフィルターを使用できない場合があります。
- (3) トラック等に積載する場合、横積みしないで下さい。
- (4) 水濡れは厳禁です。雨水などの影響が無いように注意して運搬して下さい。

2. 保管上の注意

- (1) フィルターは直接床に置かずパレットを敷くなどして床とフィルターの間に隙間を設けて下さい。
- (2) 高温多湿の場所を避けて、常温（0～40℃）常湿（30～90%）で保管して下さい。結露や直射日光は厳禁です。
- (3) フィルターは横積みしないで下さい。
- (4) 保管期限は1年間を目安とします。期限を過ぎたフィルターをご使用になる際には性能の確認を行う必要があります。

3. 使用上の注意

- (1) フィルターは機器の仕様や図面の指示に従い、空気が流れる方向やろ材の目に注意して取り付けを行って下さい。
- (2) ガasket付のフィルターを締め付ける場合にはガasket全面を均一に締め付けるようにして下さい。尚、一度圧着したガasketは、基本的に交換時まで取り外さないようにして下さい。
- (3) フィルター取り付け後は試運転を行って下さい。
- (4) 通風運転の開始時や停止時は急激な動作を避け、段階的に通風や停止を行って下さい。
- (5) 計測可能な場合、通風開始後、初期に圧力損失値を記録して下さい。
- (6) フィルターに水滴が入ったり、結露する環境では使用しないで下さい。
- (7) 空気中に有機溶剤が含まれる状況では使用しないで下さい。
- (8) 空気濾過用以外の用途には使用しないで下さい。
- (9) フィルターの通気が悪くなると機器の能力が低下します。フィルターの目が詰まったり、最終圧損値に至った場合、プレフィルター等、再生可能なフィルターについては定期的な清掃及び交換、中高性能フィルターの場合は定期的な交換を速やかに行って下さい。